

県酪だより

K E N R A K U D A Y O R I

2023

8

vol.308

T・ユニオンデューリー 国内初の母娘EX-5E獲得



Hazama
ハサマファーム

娘：T・ユニオン アフター エチユード
92点 - 5E
2015年3月24日生まれ

母：サクランド サム エルビナ
92点 - 5E
2010年12月30日生まれ

TOPICS

- ・FD24会 第27回通常総会を開催
- ・県中やまびこ会 夏期研修会開催

3

T・ユニオンデーリィ 国内初の母娘 連続での EX-5E 獲得 !!

県酪だより7月号にて掲載しておりました「令和5年度上期 牛群審査」において、T・ユニオンデーリィ所有のT・ユニオン アフター エチユード（娘）が、6才、7才92点、今回は8才で92点となり、母サクランド サム エルビナ（92点-5E）とともに、全国で初となる母娘での5回連続のエクセレントとなりました。おめでとうございます。

T・ユニオンデーリィは、東日本大震災において避難を余儀なくされ、本宮市へ移転し営農を続けてきました。今年11月にはふるさとの浪江町に12年ぶりに牛たちとともに戻り、新たな出発を迎える予定です。



牛群審査において、体型得点の最高ランクである「エクセレント」

体型得点で90点以上を獲得した牛へ、「エクセレント」との称号が与えられます。しかし、「エクセレント」を獲得するには、体型得点90点以上に加え、牛群検定305日乳量が9,000kg以上、3産以上分娩していることが求められております。年齢とともに体形が崩れやすくなる中で、連続で「エクセレント」を獲得することは、とても栄誉のあることです。

※ EX-5Eとは、エクセレントに5回評価されたということを示しております。

FD24会 第27回通常総会を開催



去る7月7日、郡山ビューホテル中華唐紅花にて27回目となるFD24会（会長 中野目正明）の通常総会を開催しました。

今回は通常開催という事で会員13名の出席と、県酪農協から紺野組合長が来賓として出席頂きました。表彰においては、最高位出荷者に雪割牧場(有)をはじめ、上位出荷者9名と103%基準達成出荷者6名に、追って記念品と賞状が送付されます。

議事では議長に鈴木正隆氏が選任され、提出された議案は全て可決・承認となりました。

また、役員改選については、選出された7名の新役員候補者が総会で承認され、続く三役互選会議で、新会長に遠藤明氏、新副会長に添田勉氏、新監事に陣野原進氏、門馬秀昭氏が選ばれました。

今後、遠藤明会長のもと、新役員で2年間、決意を新たに活動して参りますので、皆様のご協力を宜しくお願い致します。

総会終了後には同会場にて懇親会が開催され、会員同士で近況報告や最新の情報交換をして有意義な時間を過ごし、盛会にて終了致しました。

今後開催を予定している婦人部研修ですが、アンケートにて研修先や期間等のご意見をいただいております。多くの方が参加いただける様なプランを企画中ですので、楽しみにお待ちしております。

県中やまびこ会 夏期研修会開催



県中やまびこ会（会長 佐藤真理子）では令和5年6月27日(火)三春町馬場の湯温泉 三ツ美屋旅館に於いて、会員21名が参加され夏期研修会を開催致しました。講師に生産部指導診療所 野口広太郎獣医師をお迎えし「冬期の子牛の管理」と題し講演頂きました。子牛の特性、生まれた子牛に対してまず実施すべきこと、初乳の大切さ、飼養環境をメインとし多岐にわたり、大変分かりやすく説明して頂き、会員も熱心に聴講していました。質疑応答の時間には多くの質問が挙がっており、予定時間を超えるほどで、今後役立つ大変有意義な研修会となりました。

研修会終了後の懇親会では、美味しいお膳を頂きながら、久しぶりに集まった会員同士、会話が弾み親睦を深められました。食事の後は温泉に入り汗を流し、日頃の疲れも癒され心身共に安らぎ、楽しくリフレッシュできた一日となりました。

また県中やまびこ会恒例事業で、皆さんが楽しみにしていた研修旅行ですが、コロナ禍で3年間自粛しておりましたが、新型コロナウイルス5類移行に伴い、規制が緩和されたことから、今年度は一泊二日で実施予定の方向で企画しておりますので、是非多くの方がご参加下さいませよう、お願い致します。





現況報告の部：柚原 友加津さん



活動報告の部：菊池 武士さん
・佐藤 ひろ子さん



酪友フォーラムには、全国から300名あまりが参加しました
東北会議からは、20名が参加しました

7月13日(木)に、北海道札幌市「札幌パークホテル」において、全国酪農青年女性会議主催「酪友フォーラム2023 Challenge to the Next Stage~酪友とともに50年 次の時代へ~」が開催されました。

昨年、全国酪農青年女性酪農発表大会が50回目を迎え、一つの区切りとして、大会の魅力や意義などを再認識するとともに、コロナ禍で様々な活動が制限されていたため、酪青女活動を再び活気あるものにするため、過去に発表した方の現況報告や各地域での活動事例報告等を聞き、今後の活動の糧となるようにと、酪友フォーラムが開催されました。

過去の発表者による現況報告として、過去の発表大会において、酪農経営の部に出場した6名が発表当時と現在の状況について、発表しました。東北酪農青年女性会議の代表として、柚原 友加津さんが、「6次化で地域の架け橋に」と題して、発表しました。

さらに、各地域6会議において、事例報告や近年の活動報告を行い、酪友同士の交流の場や消費拡大活動などを通して、今後も様々な活動を引き続き行っていきたいなど、報告しました。

厳しい酪農情勢ではありますが、酪友フォーラムを通じて、酪友との絆を深め、元気をいただきました。

来年は「第51回酪農発表大会」として、愛知県名古屋市にて開催することを約束しました。

全国酪農青年女性会議

酪友フォーラム2023
東北代表として、柚原 友加津さんが現況報告をしました
開催

福島県酪農青年研究連盟において、各研究会や全農酪農同志会と協力し、5月中旬から、各市町村へ出向き、現在の酪農を取り巻く環境や酪農情勢を伝えるとともに、「父の日に牛乳(ちち)贈ろう！」キャンペーンをPRし、牛乳・乳製品の消費拡大を呼びかける活動を行っております。

県酪だより7月号に引き続き、牛乳・乳製品の消費拡大活動を実施いたしましたので報告いたします。

(各市町村訪問写真のお名前は全て左から順に記載しています)

福島県酪農青年研究連盟

各市町村へ、
「父の日に乳(ちち)を贈ろう！」キャンペーンにて
牛乳消費拡大活動を実施!!

7月26日(水) 猪苗代町



成田昌弘さん、二瓶盛一町長、
芳賀雄一郎さん

7月26日(水) 平田村



眞弓裕人産業建設課長
馬上一淳さん

福島県酪農青年研究連盟主催

第1回酪青連酪農後継者支援研修会を開催



7月3日(月)に磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」において、福島県酪農青年研究連盟主催の第1回酪青連酪農後継者支援研修会を開催しました。当日は、酪青連会員や関係団体、オンラインでの参加者を含む72名が参加しました。

午前の部として、講師に全国酪農業協同組合連合会 購買生産指導部 酪農技術研究所 西澤 成寿氏をお迎えし、「子牛をより良く育てる哺育管理～最初の1日と最初の1か月の大切さ～」と題し、子牛の管理や初乳の大切さなど、講演頂きました。

参加された方より、初乳を飲ませる際のボトルの工夫や生まれた子牛を冷やさずに気を付ける工夫等できそうなことを一つずつ実行していきたいや生まれたばかりの子牛は元気な子もいれば弱って生まれてくる子もいるので、今回の講演で学んだことを生かし、子牛が安全に生きていける環境にできるよう努めていきたいなど、改めて、子牛の管理について再確認いただける講演となりました。

続いて、午後の部として、「肥育牛として求める肥育用素牛について」と題し、土幌町農業協同組合 肥育農家 曾我 透 氏、農業生産法人(有)キロサ肉畜生産センター 代表取締役社長 飯野 美喜男氏を講師にお迎えし、酪農家の収入の一つであるセリ市場での子牛販売について、購買者の方が求める肥育用素牛について、聞いてみたいという要望があり、今回の講演を頂くこととなりました。

参加された方からは、どのような素牛が求められているのかが分かり、F1の交配種雄牛選定の参考になったや土幌町の話やキロサ牧場の話を聞いて、牛のブランド化、品質維持のために生産者の努力が必要不可欠で町や県の協力も同様に大切なことだと学んだなど、購買者の貴重な講演をお聞きすることができました。

次回、第2回酪青連酪農後継者支援研修会は、12月に開催予定ですので、ぜひ、ご参加いただきますようお願いいたします。



全国酪農業協同組合連合会 購買生産指導部
酪農技術研究所 西澤 成寿 氏



土幌町農業協同組合
肥育農家 曾我 透 氏



農業生産法人(有)キロサ肉畜生産センター
代表取締役社長 飯野 美喜男 氏

※酪青連酪農後継者支援研修会は、福島県の次世代酪農家育成・乳量UPチャレンジ事業を活用しております。

全酪連の小窓 8月号 ～乳房炎を防ぐ～

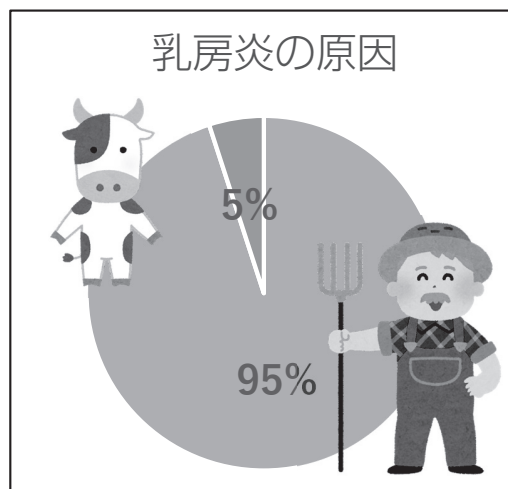
今年も暑さが厳しい夏となりました。夏バテや熱中症に気を付けたいところです。この暑さの影響は人も牛も同じ程度受けています。免疫力が低下している今だからこそ、一層の対策が必要です。

今回はいつも悩ましい課題となる乳房炎についてです。

乳質は下記の3つの要因に依存しています。

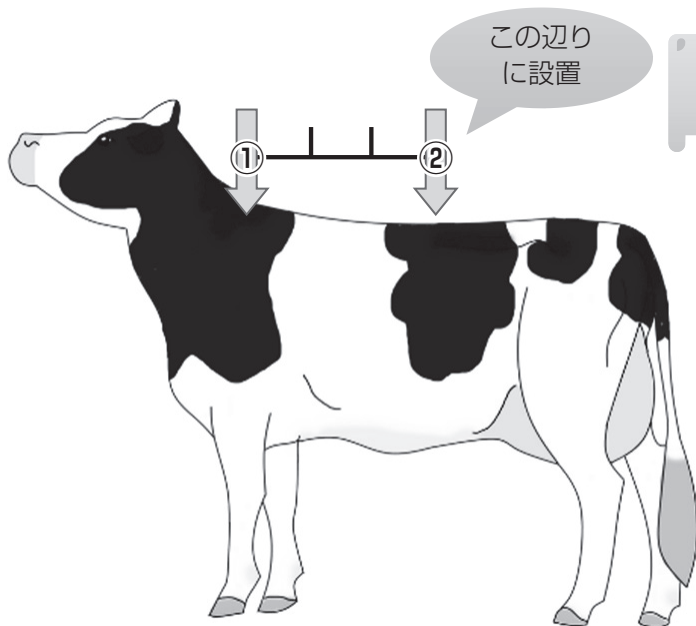
- ①牛とその飼養環境
- ②搾乳機器・施設
- ③搾乳方法

それぞれが相互に作用して発症するため原因の特定が難しくなりますが、発症は人の手によって（特に搾乳中に）感染することが大多数だといわれています。



①牛の飼養環境

基本として、牛体・牛床を清潔に保つことが前提です。牛床は水分が残らないように、こまめな除糞や十分な敷料の確保、またカウトレナーの設置を行いましょう。



カウトレナーの設置位置

排尿姿勢を取ったときに最も高くなる位置で、肩端（①）と背骨の窪み（②）までの間の後ろから1/3程度の場所になります。また上下の位置はカウトレナーと牛の背中の中に拳一つ分ほど空けます。

② 搾乳機器・施設

搾乳機器の主要なチェック場所は以下の通りです。定期的に確認、掃除・交換しましょう。

- ①真空ポンプ：逆回転防止弁、オイルの適正処理、適正な排気能力
- ②調圧器：適切な調圧機能、ほこり・水分付着の有無
- ③配管：各配管に歪みがないか、内部が完全洗浄できるか、十分な水量の確保
- ④パルセーター：常に清潔に、半年毎に測定、1年毎に部品の見直し
- ⑤ユニット：十分な容量があるか、牛乳の流れが見えるか、メーカー指定の交換頻度を守る

右の表は、搾乳前準備方法の違いでどれだけ細菌を減少したかを示しています。**太枠内**の方法でも**85%**の細菌しか除去できないため、**ストールの清潔さと搾乳機器の維持管理**が重要となります。

搾乳前準備方法	細菌減少率
乾いたタオルのみ	-40%
濡れたタオルのみ	-40%
殺菌剤に浸した濡れてタオルのみ	-40%
濡れたタオルと拭き取り	-77%
殺菌剤に浸した濡れてタオルと拭き取り	-85%
ブレイディップと拭き取り	-85%

(Hoard's Dairyman, Vol.199, No.11, June.2004)

③ 搾乳方法

乳房炎防御のポイントは、乳頭口を傷めない搾乳方法と衛生管理です。乳頭をケガした牛が乳房炎になりやすいのは菌に汚染されやすいためです。日常的に乳頭口を傷めつける方法が過搾乳になります。牛検データから、泌乳後期や産次数が進むと体細胞数が上がりやすい場合は**過搾乳**がないか確認しましょう。また普段の搾乳が過搾乳になっていないか以下の項目でチェックしてみてください。

- ✓ 搾乳後、乳頭の色が変わっている（白っぽくなる）
- ✓ ユニットのを外した後、乳頭の付け根に輪の跡ができる
- ✓ 搾乳後半に牛が落ち着かなくなり、ユニットを蹴飛ばそうとする
- ✓ 初産牛が搾乳中ずっと神経質になる
- ✓ クローやミルクホースに牛乳がない状態になっている



使用方法等でご不明点ありましたら、全酪連スタッフや県酪職員へご相談ください！

ZENRAKUREN



ZENOAQ コーナー Vol.224



〒963-0196

福島県郡山市安積町笹川字平の上1-1

日本全薬工業(株) 福島営業所

TEL0120-452-464 FAX0120-661-255

いまさら聞けない**初乳**のおはなし パート2

ゼノアックコーナーVol.224では、前回に引き続き、『いまさら聞けない初乳のお話』のパート2をお送りいたします。今回も、子牛が生まれてから一番最初にお母さん牛からもらう初乳についてあれこれ話題提供していきます。

初乳の品質とは・・・

初乳の品質と一言でいっても、様々な意味があります。

まず一つ目に、初乳の最大の目的である移行免疫であるIgGが初乳に一定量含まれているかどうかの品質。そして、2つ目には、初乳の生菌数など衛生面の品質となります。

どちらも新生子牛にとって、非常に重要な品質となりますので、注意が必要です。

初乳の品質（十分な抗体量）

まず一つ目の『十分な抗体量』としての【品質】から説明します。前回お話しした通り、子牛は母牛の初乳を通じて受動免疫を受け、出生後最初の3～4週間、子牛を疾病や感染から守ります。この受動免疫が成功するためには、子牛は少なくとも150gのIgGを初乳から摂取する必要があります。代用初乳であれば、IgGを60g含んだ初乳製剤を3袋給与すればこの基準を満たすことができます。

では、母牛から搾った初乳でこのIgG150gを満たす量というと、どのくらい給与すればいいのでしょうか。

糖度計を用いて手軽に初乳の品質を調べよう。

牧場の現場で手軽に初乳の品質を調べる方法が模索されてきて、現在のところ、最も手軽かつ信頼度の高い手法として『糖度計』を用いる方法が知られています。

この糖度計で示される数値は純粋な糖度ではなく、「Brix値」と呼ばれるもので、「溶液中の固形分の割合 (%)」を示しています。このBrix値と初乳中のIgG濃度には高い相関があることが分かっており（斎藤ら2007）Brix値25%以上が良質の初乳の指標とされています。

Brix値20～25%だと初乳中のIgGが約50 g/Lなので、目標である150 gのIgGを満たすにはその初乳を3 L以上の給与が必要ということになります。しかし、給与時間などの影響で吸収率が低下することを考慮して基本的には初乳は子牛が飲めるだけ給与が基本となります。もし、漏乳や乾乳期間の短縮などでBrix値が満たない初乳であったら、初乳製剤を初乳に混ぜて抗体量を強化するか、150gのIgG以上を満たすまで初乳量を増やして子牛に給与しましょう。



初乳の品質（汚染の有無）

二つ目の品質は、初乳の汚染の有無です。厳密に言えばどんな初乳でも細菌は多少存在します。問題は、その量であり、場合によっては初乳で免疫を与えるつもりが、細菌を感染させているなんてことにもなりかねません。さらに、悪いことに初乳中の細菌数が多いとIgGの吸収率が大きく低下してしまいます。（Jamesら1981）

お母さん牛から搾った初乳の抗体をできるだけ子牛に吸収してもらうために、現場でやれることは、

- ①初乳を搾るバケツミルカーをしっかりと洗浄しておくこと。
- ②搾った初乳を給与する哺乳瓶や哺乳バケツをしっかりと清潔にしておくこと。
- ③搾った初乳を低温殺菌（60℃30分）いわゆるパスチャライザーを使い初乳を滅菌すること。

①、②のミルカーや哺乳瓶、哺乳バケツがどのくらい清潔になっているかどうか判断が難しいかもしれません。

現在は、食品会社が検査で使っている試薬などを活用し、今現在の洗浄方法の検証を行うことができます。

器具の洗浄状態を確認したい方はゼノアック社員にお声をかけてください。

今回は、2つの視点から初乳の品質についてご紹介いたしました。

次回は、搾った初乳の保管方法などの話題提供をしたいと思います。〇

参考文献：ジンプロ社初乳管理、獣医師鉄平先生のコラム/分娩の管理（7）、

令和5年度6月別支払乳価表

今月のプール乳価・補給金・集送乳調整金を含めた支払乳価は、前年より10円22銭3厘上回る単価となりました。生乳取引価格については、令和4年11月1日から飲用向け及び発酵乳向け10円/kg（税抜）の値上げが、令和5年4月1日から学乳向け及び乳製品向け10円/kg（税抜）の値上げとなっております。また、令和5年8月1日からは飲用向け及び発酵乳向け10円/kg（税抜）の値上げが決定しております。

■東北全体プール乳代金 4,443,478千円 単価120.161円
 ■内 福島県分プール乳代金① 472,528千円 単価120.161円
 プール対象外乳代金② 96,736千円
 （学乳向け・買取向け乳代金）
 合計乳代金①+② 569,264千円 単価124.063円

項目	令和5年6月	前年同月	増減	前々年同月
プール乳価	121円504	111円203	10円301	112円129
補給金単価	0円873	0円927	-0円054	0円713
集送乳調整金単価	0円266	0円290	-0円024	0円218
合計	122円643	112円420	10円223	113円060

(注)上記合計は、脂肪率3.5%・無脂固形率8.3%の補給金込みの乳価。

(東北全体6月)

用途別	販売乳量(トン)	日量(トン)	前年比(%)	シェア(%)	前年度シェア
飲用向け	25,952	865.0	95.3	65.5	65.0
加工向け	3,351	112.0	83.2	8.5	9.6
学校給食向け	2,665	89.0	96.3	6.7	6.6
醗酵乳向け	7,026	234.0	97.2	17.7	17.3
生クリーム向け	512	17.0	100.2	1.3	1.2
チーズ向け	139	5.0	103.4	0.3	0.3
合計	39,644	1,322.0	94.6	100.0	100.0

備考 1) 買取乳量を除く

団体別受託乳量の状況

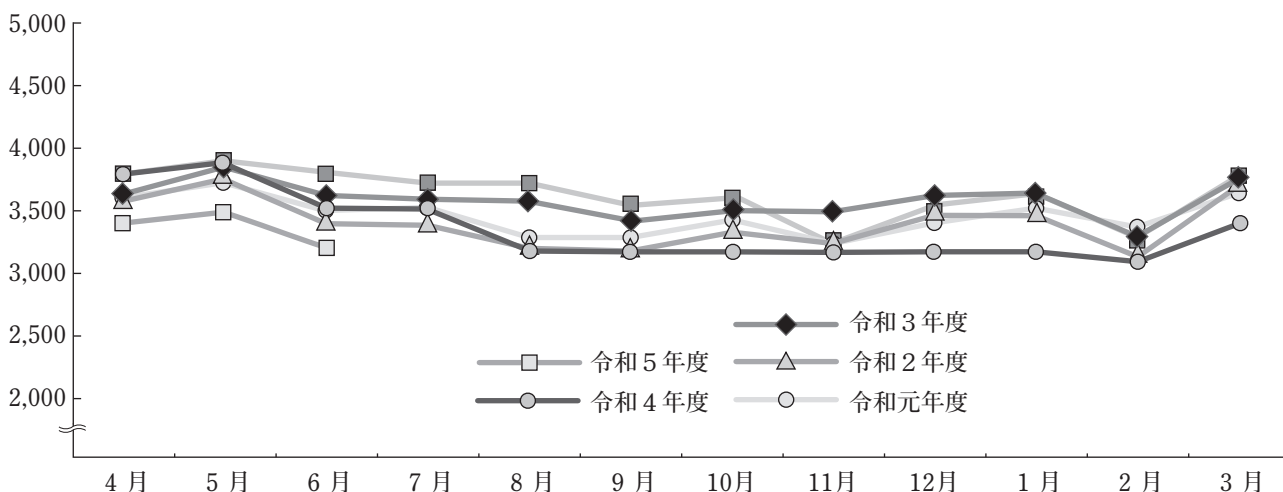
北海道：96.4%、都府県：94.3%

団体名	6月分		
	受託乳量(トン)	日量(トン)	前年比(%)
県酪協	3,217	107.2	92.1
全農福島県本部	1,371	45.7	86.3
合計	4,588	152.9	90.3
東北生乳販連	39,644	1,321.5	94.6
全国	579,430	19,314.3	95.5

月別受託乳量 県酪協 (トン)

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和元年度	3,661	3,736	3,526	3,528	3,380	3,391	3,495	3,349	3,477	3,589	3,442	3,735	42,310
令和2年度	3,642	3,739	3,495	3,482	3,363	3,310	3,458	3,341	3,505	3,549	3,268	3,723	41,874
令和3年度	3,693	3,859	3,629	3,599	3,564	3,486	3,578	3,515	3,619	3,652	3,353	3,760	43,307
令和4年度	3,691	3,733	3,494	3,434	3,305	3,255	3,354	3,210	3,324	3,355	3,088	3,456	40,699
令和5年度	3,407	3,492	3,217										
前年比%	92.3	93.5	92.1										

単位・トン



令和5年度受託乳量の状況

令和5年6月の受託乳量は、県全体で前年比90.3%の実績でありました

団体別の受託乳量は、本組合が3,217トン、前年比92.1%（対前年同277トン減）、全農県本部は1,371トンの対前年比86.3%

（対前年同月217トン減）の実績でありました。

東北生乳販連の受託販売実績については、前年比94.6%となりました。

なお、全国の実績は対前年比95.5%となりました。

令和5年度用途別販売乳量の状況（東北全体）

東北全体の用途向け販売数量は、前年比で生クリーム向けが100.2%、チーズ向けが103.4%と上回り、飲用向けが95.3%、加工向けが83.2%、学校給食向けが96.3%、発酵乳向けが97.2%と下回って推移しました。引き続き、福島県産牛乳・乳製品の消費拡大にご協力をお願い致します。

令和5年度の補給金単価については、加工原料乳生産者補給金単価が生乳1キログラム当たり前年度比43銭引き上げの「8円69銭」、集送乳調整金を同6銭引き上げの「2円65銭」、総交付対象数量については、前年度比15万トン減の「330万トン」で決定しました。補給金単価と集送乳調整金単価を合算すると、前年度比49銭上げの「11円34銭」となります。補給金単価の上げ

要素としては、配合飼料価格の高騰等、下げ要素としては搾乳牛1頭当たりの乳量の増加、乳牛償却費の減少があり、集送乳調整金の上げ要素としては、集送乳委託費と単独集送乳経費の増加、下げ要素としては加工原料乳の集乳乳量の増加が挙げられます。総交付対象数量の算定に必要な「推定乳製品向け生乳消費量」は、国民一人当たりの乳製品の消費量について過去10年間のトレンドから算出されています。

なお、今月の酪王協同乳業（郡山工場）の生乳使用量は日量平均47.9トﾝ（前年比92.0%）で、本組合生産量の44.7%、県全体生産量の31.3%の処理量となりました。

年次別・月別支払乳価一覧（補給金・集送乳調整金を含む）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和5年度	120.673	121.861	122.643										
令和4年度	109.973	110.973	112.420	111.282	110.437	112.872	112.484	120.128	117.186	118.965	119.149	116.514	114.365
令和3年度	110.502	111.609	113.060	111.724	110.197	112.507	112.537	112.319	109.640	110.594	110.503	109.010	111.184
令和2年度	108.959	110.268	113.694	113.625	112.257	114.269	113.489	112.845	111.265	111.109	112.190	109.876	111.986
令和元年度	107.825	109.442	110.235	109.707	109.001	110.834	113.758	112.804	110.935	111.470	112.026	108.238	110.523

乳牛頭数調査集計表（公共機関を含む）

令和5年6月30日現在

地 区	酪農家戸数			乳 牛 頭 数									
	戸数	前年度戸数	前年比	育成	初妊	経産牛				合計	前年度頭数	前年比	1戸当たり頭数
						乾乳妊娠	妊娠搾乳	空胎搾乳	小計				
県 北	戸 27	戸 31	% 87.1	頭 401	頭 190	頭 192	頭 461	頭 645	頭 1,298	頭 1,889	頭 1,981	% 95.4	頭 70.0
県 中	51	58	87.9	255	122	186	384	679	1,249	1,626	1,759	92.4	31.9
浜	7	7	100.0	96	37	40	55	98	193	326	328	99.4	46.6
県 南	33	38	86.8	554	291	242	618	910	1,770	2,615	2,823	92.6	79.2
合 計	118	134	88.1	1,306	640	660	1,518	2,332	4,510	6,456	6,891	93.7	54.7

地 区	月 別 分 娩 予 定 頭 数							販 売 乳 量				
	令和5年7月	令和5年8月	令和5年9月	令和5年10月	令和5年11月	令和5年12月	令和6年1月	生乳出荷戸数	地域別販売乳量		1日1頭当り乳量	
	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg		kg	kg	kg	kg
県 北	頭 122	頭 120	頭 124	頭 124	頭 93	頭 133	頭 127	戸 23	kg 32,740	kg 1,423	kg 29.6	kg 25.2
県 中	106	100	90	88	81	80	147	50	27,392	548	25.8	21.9
浜	21	22	20	13	15	14	27	7	4,699	671	30.7	24.3
県 南	165	174	158	156	168	144	186	31	43,368	1,399	28.4	24.5
合 計	414	416	392	381	357	371	487	111	108,200	975	28.1	24.0

第333回 県酪協乳牛市場成績

令和5年7月12日開催

購買者数 32名 (うち県外17名)

畜種	雌雄	成立数 (成立率)	最高価格 最低価格	平均価格 (前回比)	平均体重 (前回比)	平均単価 (前回比)
ET和牛	メス	6 (100)	380,000 169,000	324,667 (105)	91 (83)	3,568 (128)
	雄	23 (100)	490,000 305,000	391,174 (105)	111 (96)	3,532 (110)
乳牛	メス	6 (100)	30,000 6,000	18,500 (39)	77 (105)	240 (37)
	雄	35 (100)	147,000 25,000	102,829 (75)	67 (88)	1,541 (86)
交雑牛	メス	58 (100)	229,000 30,000	153,086 (102)	72 (96)	2,140 (107)
	雄	69 (99)	258,000 103,000	159,797 (88)	76 (92)	2,090 (96)
初任牛		16 (94)	484,000 362,000	432,625 (115)		

価格：円（落札価格） 率・比：％ 体重：kg

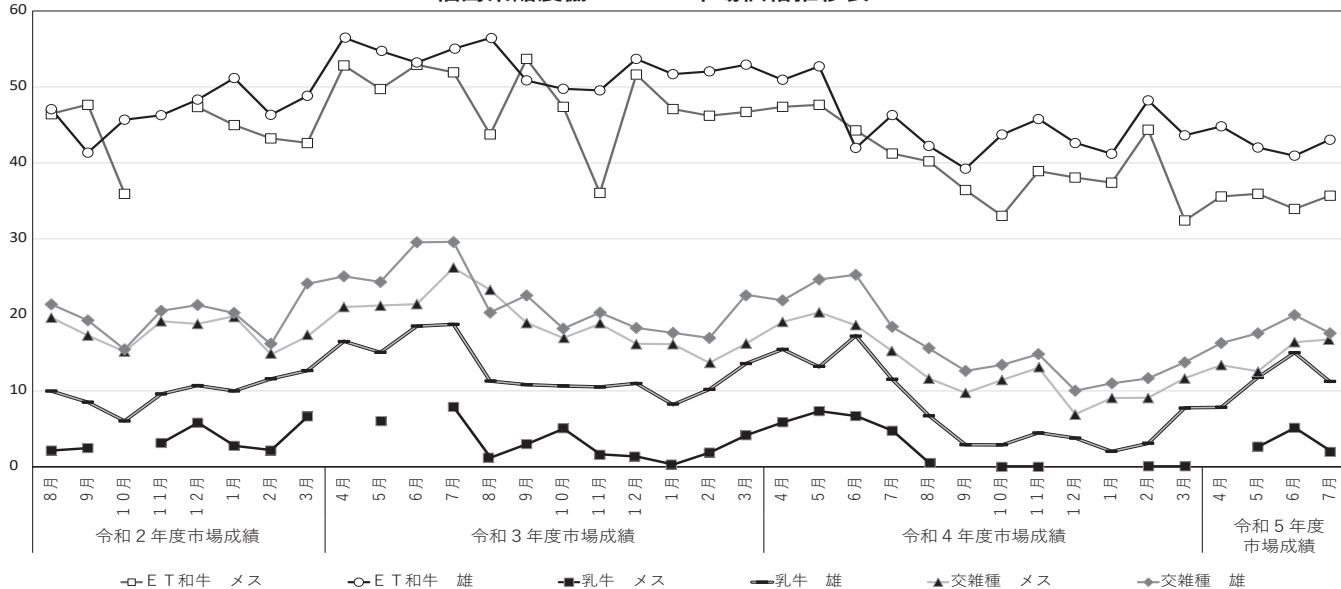
初生牛の価格帯別分布表

(0は0.1~0.9万円、1は1.0~1.9万円、以下同様。尚、落札価格です。)

畜種	雌雄	価格帯(万円)																								
		<16	~	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
ET和牛	メス	1		1					1	1	1	1														
	雄			1	1	1	1	1	1	4	2	1		1		3	1	1	1	2			1			
乳牛		0<	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	メス		3	1	1																					
交雑牛		<1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
	メス			1	1				1	1	7	5	3	2	3	4	3	9	8	4	2	2	2			
初任牛		<34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58
				2			1	1		2	3	1	2	1	1	2										

単位:万円

福島県酪農協スモール市場価格推移表



組合の動き 7月

7月3日	第1回酪青連酪農後継者支援研修会	7月18日	JAグループ原発事故損害賠償対策協議会総会
7月4日	県酪女性部やまびこ会役員会	7月19日	福島県獣医畜産発表大会
7月4日	全酪連ブロック別会長・組合長会議	7月20日	復興牧場設立準備委員会
7月4日	経営検討会・再建検討委員会	7月21日	東北酪専団通常総会
7月6日	第4回理事会	7月25日	東北生乳販連通常総会
7月6日	三役委員長会議	7月25日	酪青連役員会、青年部役員会
7月6日	東北生乳販連事業推進委員会	7月26日	馬事畜産振興協議会総会
7月6日	(株)らくのう乳販取締役会	7月26日	牛乳消費拡大活動（猪苗代町、平田村）
7月7日	FD24会通常総会	7月27日	全酪連通常総会・理事会
7月10日	県北地区牛魂祭	7月28日	生乳の安全安心確保のための福島県協議会
7月12日	乳牛せり市場	7月28日	経営検討会
7月13日	酪友フォーラム2023	7月31日	津島支部総会
7月13日	東北生乳販連理事会		
7月14日	原発事故損害賠償対策酪農団体協議会幹事会・総会		

理 事 会

第4回 令和5年7月6日

議 案

報告事項

議案第1号 夏季手当の支給について

第61回福島県獣医畜産技術総合研究発表会

令和5年7月19日(水)、第61回福島県獣医畜産技術総合研究発表会が開催されました。

当組合からは、県酪農協業績発表大会の発表者より選考された指導推進課 甲斐響さん、指導診療所 小島 宏文獣医師、久保 葵獣医師の3名が代表として発表しました。

発表の結果、小島 宏文獣医師がゼノアック賞を受賞しました。



令和5年度
保育園児・幼稚園児・小学生



第34回



ミルク 図画 コンクール

応募された方全員に
参加賞プレゼント!

酪農・乳業・牛乳・**図画・作品大募集!**
乳製品にちなむ

牛乳に関する絵なら、牛さんの絵でも、牧場の絵でも、牛乳のある楽しい食卓の絵でも何でもOKです。お子さまの力作をどんどご応募ください。

応募方法

酪農・乳業・牛乳・乳製品に関する図画(ポスターを除く)
四ツ切り大(約54cm×38cm)の画用紙に水彩絵の具、クレヨンなど画材は自由です。
ウラ面に所属小学校または保育園・幼稚園名、学年(保育園・幼稚園児は年齢)、郵便番号、住所、氏名、電話番号、作品名を明記のうえ、当協会あてへ郵送、またはご持参ください。

部門

●保育園・幼稚園(3~4歳の部)・(5~6歳の部) ●小学生低学年(1~2年生の部)
●小学生中学年(3~4年生の部) ●小学生高学年(5~6年生の部)
上記の5部門に分けて審査し入選作品を選定いたします。
保育園・幼稚園部門については、締め切り日時点での年齢でご応募ください。

使用権について

応募作品の著作権は主催者に帰属します。また、主催者が関連するイベント等で応募作品の展示や今後の牛乳普及活動などに使用することがあります。その際には、学校名、学年、氏名を掲載する場合がありますので、予めご了承ください。

各部門

●最優秀賞(1点) 賞状と5千円相当の図書カード
●優秀賞(2点) 賞状と3千円相当の図書カード
●優良賞(7点以内) 賞状と2千円相当の図書カード
若干名を「全国酪農青年女性会議」主催の『第50回らくのうこどもギャラリー』へ応募させていただきます。

その他

応募作品は原則として返却いたしません。特に申し出があった場合には対応いたします。応募点数は制限いたしませんが入賞は一人1点とさせていただきます。

あて先

〒969-1103 本宮市仁井田字一里壇17
福島県酪農業協同組合内 福島県牛乳普及協会
TEL.0243(33)1101 FAX.0243(33)1103

応募締切 令和5年

10/6 金
必着

発表
入選者には
直接通知します

主催 / **福島県牛乳普及協会**



〒969-1103 本宮市仁井田字一里壇17 福島県酪農業協同組合内 TEL.0243(33)1101 FAX.0243(33)1103
後援 / 福島県・福島県教育委員会・福島県酪農業協同組合・全国農業協同組合連合会福島県本部

ご提供頂いた個人情報につきましては、本コンクールに係る目的にのみ使用し、他の目的で使用することはありません。



牛乳・乳製品・酪農・乳業に ちなむ標語・川柳を募集!

牛乳・乳製品に対する関心を高め牛乳消費拡大を目的とします。
テーマは「牛乳・乳製品・酪農・乳業」です。
自由に考えて、標語・川柳をどどんご応募ください。



[応募対象] 福島県内の中学校生徒

[応募方法] 裏面に標語・川柳、所属中学校名、学年、郵便番号、住所、氏名、電話番号、コメント(テーマなど)を明記のうえ、当協会あてへ郵送、またはご持参ください。

[部 門]

- 中学1年生の部
- 中学2年生の部
- 中学3年生の部



[選考方法]

皆様から寄せられた作品の中から書類選考のうえ中学校の学年別に審査を行い、合計3部門で優秀作品を選定します。

[使用権について]

応募作品の著作権は主催者に帰属します。また、主催者が関連するイベント等で応募作品の展示や今後の牛乳普及活動などに使用することがあります。その際には、学校名、学年、氏名を掲載する場合がありますので、予めご了承ください。

[賞品(各部門)]

最優秀賞(1点) 8,000円相当の商品
優 秀 賞(2点) 5,000円相当の商品
優 良 賞(5点以内) 3,000円相当の商品

[その他]

応募作品は原則として返却いたしません。特に申し出があった場合には対応いたします。
応募点数は制限いたしません。入賞は一人1点とさせていただきます。

[あて先]

〒969-1103 本宮市仁井田字一里壇17 福島県酪農業協同組合内
福島県牛乳普及協会
TEL.0243(33)1101 FAX.0243(33)1103

ご提供頂いた個人情報につきましては、本コンクールに係る目的にのみ使用し、他の目的で使用することはありません。

主催 / 福島県牛乳普及協会



〒969-1103 本宮市仁井田字一里壇17 福島県酪農業協同組合内
TEL.0243(33)1101 FAX.0243(33)1103

後援 / 福島県・福島県教育委員会・福島県酪農業協同組合・全国農業協同組合連合会福島県本部

令和5年度
中学生対象

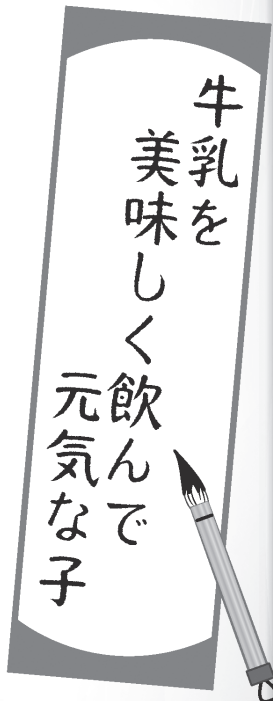
牛乳消費
拡大

第3回

標語・川柳

コンクール

[応募締切]
令和5年
10/6
(金)
必着



福島県牛乳普及協会
令和4年度
牛乳・乳製品利用料理コンクール
福島県大会入賞レシピ



湯葉と半熟卵のトロトロオムライス
～3種の濃厚チーズソースがけ～

郡山女子大学附属高等学校
永崎 紅亜



●●● 材 料 ●●●

(材料:4人分)

・舞茸……………130g	〈(A) 卵液〉
・ベーコン……………60g	・卵……………5個
・玉ねぎ……………140g	・砂糖……………小さじ2
・米……………2合	・牛乳……………150ml
・バター……………15g	〈(B) ソース〉
・塩……………小さじ1/2	・とろけるチーズ……2枚
・ほんだし……………小さじ1/2	・濃厚クリームチーズ…3枚
・醤油……………大さじ2	〈クリームチーズ & チェダーチーズ〉
・あらびきこしょう…少々	・牛乳……………170ml
・アスパラ……………2本	
・生湯葉……………適量	
・パプリカ(赤・黄)……適量	

●作り方

- ① アスパラは塩茹でし、舞茸は飾り用に4つとり、さっと茹でる。パプリカは軽く炒めて、塩こしょうする。
- ② お米をといで、ザルに上げておく。
- ③ 余った舞茸、玉ねぎをみじん切りにし、ベーコンを細めの短冊切りにする。
- ④ 炊飯釜に③と塩、ほんだし、醤油を入れ、②加えて炊く。
- ⑤ (A) 卵液調味料を混ぜて、フライパンで半熟に

なるように焼く。

- ⑥ ボウルにチーズをちぎって入れ、牛乳を加え、レンジで30秒ずつ加熱していく。(600W)
- ⑦ お皿に④、⑤、⑥と生湯葉を盛り付け、①を飾り、あらびきこしょうをかけて完成。

ポイント

牛乳たっぷりの半熟卵と濃厚チーズソースが、和風バターライスと良く合い、クリーミーな仕上がりになっています。

湯葉が添えてある新食感なおムライスで楽しさもあり、おいしいです！

『特派員報告』大募集

毎月、県内各地の情報を皆さまから提供いただき、共有していきたいと思っております。ちょっとした出来事、地域にあるお店の紹介などなど情報提供をお願いします。

連絡先

E-mail : hiro-watanabe@fukuraku.or.jp

F A X : 0243-33-1103



『ほっとMilk』投稿募集について

1. テーマは自由 (ほっと(^o^))する話題がいいですね) 2. 受付 (常時受け付けしています)
◎文章だけでも結構です。 メール・FAX・事務所経由・直接持参、何でもOKです。
◎写真があると最高です。 E-mail : hiro-watanabe@fukuraku.or.jp
F A X : 0243-33-1103

発行者 福島県酪農業協同組合 発行責任者 常務理事 佐藤 幸光

〒969-1103 福島県本宮市仁井田字一里壇17番地 TEL 0243-33-1101 FAX 0243-33-1103 URL <http://www.milk.fukushima.jp>